

大学番号：国044

注3

[平成30年度設置]

共同設置

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

静岡大学大学院 光医工学研究科 光医工学共同専攻  
浜松医科大学大学院 医学系研究科 光医工学共同専攻

注2

## 【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

静岡大学：国立大学法人静岡大学  
浜松医科大学：国立大学法人浜松医科大学

令和元年5月1日現在

静岡大学：作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 企画課長 望 月 香 里

電話番号 054-238-4574

（夜間） 054-238-4574

F A X 054-238-0089

e-mail secchi@adb.shizuoka.ac.jp

浜松医科大学：作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 総務課長 葛 山 雅 弘

電話番号 053-435-2109

（夜間） 053-435-2109

F A X 053-435-2112

e-mail ssb@hama-med.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	20
6. 留意事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	37

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者、大学名

国立大学法人静岡大学 : 静岡大学  
 国立大学法人浜松医科大学 : 浜松医科大学

## (2) 大学の位置

(静岡大学)  
 〒432-8561  
 静岡県浜松市中区城北三丁目5番1号  
 ( 〒422-8529  
 静岡県静岡市駿河区大谷836番地 )

(浜松医科大学)  
 〒431-3192  
 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
静岡大学	学長	(イシイ キヨシ) 石井 潔 (平成29年4月)		
	研究科長	(ハラ カズヒコ) 原 和彦 (平成30年4月)		
	専攻長	—		
浜松医科大学	学長	(コンノ ヒロユキ) 今野 弘之 (平成28年4月)		
	研究科長	—		
	専攻長	—		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
 (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)  
 令和元年度に報告する内容 → (元)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

大学名	調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
			修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
静岡大学	光医学研究科 光医学共同専攻 (後期3年のみの博士課程) 博士(光医学)	工学関係 医学関係	3年	5人	— 年次人	15人	
浜松医科大学	医学系研究科 光医学共同専攻 (後期3年のみの博士課程) 博士(光医学)	工学関係 医学関係	3年	3人	— 年次人	9人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

大学名	対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
静岡大学	A 入学定員	5 ( ) [ ]	—	5 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]		1.00 倍	— 倍	
	志願者数	5 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	5 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
	受験者数	5 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	5 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
	合格者数	5 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	5 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
	B 入学者数	5 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	5 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.00						
浜松医科大学	A 入学定員	3 ( ) [ ]	—	3 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]		1.00 倍	— 倍	
	志願者数	3 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	3 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
	受験者数	3 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	3 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
	合格者数	3 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	3 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
	B 入学者数	3 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	3 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.00						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には

「-」を記入してください。

- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
静岡大学	1年次	5 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	5 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	
	2年次	/		5 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	
	3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
	計	5 [ - ] ( - )		10 [ - ] ( - )		[ ] ( )	[ ] ( )	
浜松医科大学	1年次	3 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	3 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	
	2年次	/		3 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	
	3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
	計	3 [ - ] ( - )		6 [ 1 ] ( - )		[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
				入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
静岡大学	平成30年度	5人	0人	平成30年度	0人	0人	
	令和元年度	10人	0人	平成30年度	0人	0人	
				令和元年度	0人	0人	
	令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
				令和元年度	人	人	
				令和2年度	人	人	
	合計		0人		0人	0人	
浜松医科大学	平成30年度	3人	0人	平成30年度	0人	0人	
	令和元年度	6人	0人	平成30年度	0人	0人	
				令和元年度	0人	0人	
	令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
				令和元年度	人	人	
				令和2年度	人	人	
	合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

<静岡大学>

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

<浜松医科大学>

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻共通科目	光子・電子のナノサイエンスと応用	1前	静岡大学	2								7
	先端基礎医学特論	1前	浜松医科大学	2			3					12
	科学技術英語コミュニケーションⅠ	1前	静岡大学	1								1
	科学技術英語コミュニケーションⅡ	1後	静岡大学	1								1
	生体構造・機能解析	1後	浜松医科大学	2			1					6
	科学技術文書表現法	2前	静岡大学	1								1
	研究インターンシップ	2前	静岡大・浜松大	2			14	1				
	医薬品・医療機器開発概論	2後	浜松医科大学	2								7
	医療・生物統計学	2後	浜松医科大学	2			1					2
	工学的知財・起業論	2後	静岡大学	2			1					5
小計(10科目)	-			0	17	0	14	1	0	0	0	34
基礎科目	医工学概論A	1前	浜松医科大学	2			4					6
	医工学概論B	1前	静岡大学	2			7	1				1
	医療研究概論	1前	浜松医科大学	2								10
	小計(3科目)	-		2	4	0	11	1	0	0	0	17
専門科目	ナノフォトニクス	1後	静岡大学	2			1					3
	ナノエレクトロニクス	1後	静岡大学	2			1					3
	病態・疾病学	2前	浜松医科大学	2			3					10
	メディカル生体情報処理学	2前	浜松医科大学	2			1					9
	小計(4科目)	-		0	8	0	6	0	0	0	0	25
	イメージングデバイス	1後	静岡大学	2			3					3
	生体計測・情報システム	1後	静岡大学	2				1				3
	イメージングシステム	2前	静岡大学	2			2					4
	メディカルデバイスデザイン	2後	浜松医科大学	2			1					8
	小計(4科目)	-		0	8	0	6	1	0	0	0	18
特別演習・特別研究	1後	静岡大・浜松大	2			14	1					
光工学特別研究	2~3選	静岡大・浜松大	8			14	1					
小計(2科目)	-		10	0	0	14	1	0	0	0	0	
合計(2科目)	-		12	37	0	14	1	0	0	0	76	
卒業要件及び履修方法												
<p>光工学共同専攻に3年以上在学し、所定の単位数を修得し、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>修了に必要な単位数は、24単位とし、主指導教員及び副指導教員から履修指導を受けた上で、専攻共通科目から4単位以上、基礎科目から4単位、専門科目から必修科目である特別研究8単位及び特別演習2単位を含めた14単位以上を履修するものとする。</p> <p>基礎科目は、医工学概論A、Bのうち、いずれか1科目を修得すること。</p>												

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻共通科目	光子・電子のナノサイエンスと応用	1前	静岡大学	2								7
	先端基礎医学特論	1前	浜松医科大学	2			3					12
	科学技術英語コミュニケーションⅠ	1前	静岡大学	1								1
	科学技術英語コミュニケーションⅡ	1後	静岡大学	1								1
	生体構造・機能解析	1後	浜松医科大学	2			1					6
	科学技術文書表現法	2前	静岡大学	1								1
	研究インターンシップ	2前	静岡大・浜松大	2			14	1				
	医薬品・医療機器開発概論	2後	浜松医科大学	2								7
	医療・生物統計学	2後	浜松医科大学	2			1					2
	工学的知財・起業論	2後	静岡大学	2			1					5
小計(10科目)	-			0	17	0	14	1	0	0	0	34
基礎科目	医工学概論A	1前	浜松医科大学	2			4					6
	医工学概論B	1前	静岡大学	2			7	1				1
	医療研究概論	1前	浜松医科大学	2								10
	小計(3科目)	-		2	4	0	11	1	0	0	0	17
専門科目	ナノフォトニクス	1後	静岡大学	2			1					3
	ナノエレクトロニクス	1後	静岡大学	2			1					3
	病態・疾病学	2前	浜松医科大学	2			3					11
	メディカル生体情報処理学	2前	浜松医科大学	2			1					9
	小計(4科目)	-		0	8	0	6	0	0	0	0	25
	イメージングデバイス	1後	静岡大学	2			3					3
	生体計測・情報システム	1後	静岡大学	2				1				3
	イメージングシステム	2前	静岡大学	2			2					4
	メディカルデバイスデザイン	2後	浜松医科大学	2			1					8
	小計(4科目)	-		0	8	0	6	1	0	0	0	18
特別演習・特別研究	1後	静岡大・浜松大	2			14	1					
光工学特別研究	2~3選	静岡大・浜松大	8			14	1					
小計(2科目)	-		10	0	0	14	1	0	0	0	0	
合計(2科目)	-		12	37	0	14	1	0	0	0	76	
卒業要件及び履修方法												
<p>光工学共同専攻に3年以上在学し、所定の単位数を修得し、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>修了に必要な単位数は、24単位とし、主指導教員及び副指導教員から履修指導を受けた上で、専攻共通科目から4単位以上、基礎科目から4単位、専門科目から必修科目である特別研究8単位及び特別演習2単位を含めた14単位以上を履修するものとする。</p> <p>基礎科目は、医工学概論A、Bのうち、いずれか1科目を修得すること。</p>												



【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻共通科目	光子・電子のナノサイエンスと応用	1前	静岡大学		2								7
	先端基礎医学特論	1前	浜松医科大学		2		3						12
	科学技術英語コミュニケーションⅠ	1前	静岡大学		1								1
	科学技術英語コミュニケーションⅡ	1後	静岡大学		1								1
	生体構造・機能解析	1後	浜松医科大学		2		1						6
	科学技術文書表現法	2前	静岡大学		1								1
	研究インターンシップ	2前	静岡大・浜松大		2		14	1					
	医薬品・医療機器開発概論	2後	浜松医科大学		2								7
	医療・生物統計学	2後	浜松医科大学		2		1						2
	医工学的財産・起業論	2後	静岡大学		2		1						5
小計(10科目)	-			0	17	0	14	1	0	0	0	34	
基礎科目	医工学概論A	1前	浜松医科大学		2		4						6
	医工学概論B	1前	静岡大学		2		7	1					1
	医療研究概論	1前	浜松医科大学		2								10
	小計(3科目)	-			2	4	0	11	1	0	0	0	17
専門科目	光医用センシング	1後	静岡大学		2		1						3
	ナノエレクトロニクス	1後	静岡大学		2		1						3
	病態・疾病学	2前	浜松医科大学		2		3						10
	メディカル生体情報処理学	2前	浜松医科大学		2		1						9
	小計(4科目)	-			0	8	0	6	0	0	0	0	25
	光医用デバイス・機器工学	1後	静岡大学		2		3						3
	生体計測・情報システム	1後	静岡大学		2			1					3
	イメージングシステム	2前	静岡大学		2		2						4
	メディカルデバイスデザイン	2後	浜松医科大学		2		1						8
	小計(4科目)	-			0	8	0	6	1	0	0	0	18
特別演習・特別研究	1後	静岡大・浜松大		2		14	1						
光工学特別研究	2~3通	静岡大・浜松大		8		14	1						
小計(2科目)	-			10	0	0	14	1	0	0	0	0	
合計(2科目)	-			12	37	0	14	1	0	0	0	76	
卒業要件及び履修方法													
<p>光工学共同専攻に3年以上在学し、所定の単位数を修得し、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>修了に必要な単位数は、24単位とし、主指導教員及び副指導教員から履修指導を受けた上で、専攻共通科目から4単位以上、基礎科目から4単位、専門科目から必修科目である特別研究8単位及び特別演習2単位を含めた14単位以上を履修するものとする。</p> <p>基礎科目は、医工学概論A、Bのうち、いずれか1科目を修得すること。</p>													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。

- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

・特になし。

**【令和元年度】**

・より専門に近い教員により講義を担当するため、「病態・疾病学」の兼任・兼担の配置を「10」から「11」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

大学名	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
静岡大学	2 科目	12 科目	0 科目	14 科目	2 科目 [ 0 ]	12 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	14 科目 [ 0 ]	
浜松医科大学	3 科目	9 科目	0 科目	12 科目	3 科目 [ 0 ]	9 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	12 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
静岡 大学	1	該当なし					
	2						
	3						
浜松 医科大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
静岡 大学	1	該当なし					
	2						
	3						
浜松 医科大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

静岡大学：該当なし
浜松医科大学：該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(静岡大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{14} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

(浜松医科大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{12} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

(静岡大学)

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	土地の売却のため (30)			
	校 舎 敷 地	282,046 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	282,046 m <sup>2</sup>				
	運 動 場 用 地	84,654 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	84,654 m <sup>2</sup>				
	小 計	366,700 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	366,700 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	3,754,640 m <sup>2</sup> 3,754,703 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	3,754,640 m <sup>2</sup> 3,754,703 m <sup>2</sup>				
	合 計	4,121,340 m <sup>2</sup> 4,121,403 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	4,121,340 m <sup>2</sup> 4,121,403 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	183,084 m <sup>2</sup> 183,814 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	183,084 m <sup>2</sup> 183,814 m <sup>2</sup>	ものづくり館の改築及び 附属図書館浜松分館の改 築並びに教育学部E棟の 面積の修正のため (30)			
	( 183,084 m <sup>2</sup> ) ( <del>183,814 m<sup>2</sup></del> )	( — m <sup>2</sup> )	( — m <sup>2</sup> )	( 183,084 m <sup>2</sup> ) ( <del>183,814 m<sup>2</sup></del> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	5 室 <del>7 室</del>	0 室	14 室 <del>18 室</del>	0 室  (補助職員 0人)	電子工学研究所棟改築工 事のため (30)			
	演 習 室				0 室  (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	光医学研究科 光医学共同専攻			8 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌、電 子ジャーナル及び視 聴覚資料は、研究科 単位で特定不能なた め、大学全体の数  図書等の受入及び廃棄等 による増減のため (元) 図書等の受入及び廃棄等 による増減のため (30)	
	光医学研究科 光医学共同専 攻	1,207,500 [350,495] +209,500 [348,750] +212,000 [349,800] (1,205,530 [350,138]) (+204,742 [349,576]) (+205,000 [349,400])	20,480 [6,510] 20,490 [6,545] 20,260 [6,488] (20,477 [6,509]) (20,493 [6,547]) (20,260 [6,494])	5,617 [5,537] 5,683 [5,603] 6,195 [5,550] (5,616 [5,536]) (5,681 [5,601]) (6,193 [5,547])	7,791 7,790 13,700 (7,959) (7,744) (13,685)	872 817 730 ( 872 ) ( <del>817</del> ) ( <del>730</del> )	( 0 ) ( 0 ) ( 0 )		
	計	1,207,500 [350,495] +209,500 [348,750] +212,000 [349,800] (1,205,530 [350,138]) (+204,742 [349,576]) (+205,000 [349,400])	20,480 [6,510] 20,490 [6,545] 20,260 [6,488] (20,477 [6,509]) (20,493 [6,547]) (20,260 [6,494])	5,617 [5,537] 5,683 [5,603] 6,195 [5,550] (5,616 [5,536]) (5,681 [5,601]) (6,193 [5,547])	7,791 7,790 13,700 (7,959) (7,744) (13,685)	872 817 730 ( 872 ) ( <del>817</del> ) ( <del>730</del> )	( 0 ) ( 0 ) ( 0 )		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体  附属図書館浜松分館の閲 覧スペースと書架スペース の割合の見直しによる 変更 (元) 附属図書館浜松分館改 築・改修 (H30.3竣工、 H30.6オープン予定) に よる変更 (30)		
	12,251 m <sup>2</sup> 12,243 m <sup>2</sup>		1,065 908 1,109		1,106,638 1,109,625 1,098,625				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	3,970 m <sup>2</sup>		水泳プール、テニスコート、武道場、弓道場ほか						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(浜松医科大学)

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	22,950 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	22,950 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	24,532 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	24,532 m <sup>2</sup>				
	小 計	47,482 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	47,482 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	254,706 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	254,706 m <sup>2</sup>				
	合 計	302,188 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	302,188 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	38,431 m <sup>2</sup> <del>37,868 m<sup>2</sup></del> ( 38,431 m <sup>2</sup> ) ( <del>37,868 m<sup>2</sup></del> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	38,431 m <sup>2</sup> <del>37,868 m<sup>2</sup></del> ( 38,431 m <sup>2</sup> ) ( <del>37,868 m<sup>2</sup></del> )	総合人間科学・基礎研究棟の竣工に伴い平成30年5月1日現在の数に変更(30)			
	共 用								
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	16 室	38 室	15 室	2 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	医学系研究科 光医工学共同専攻			7 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	附属図書館の改修計画に伴い、蔵書の見直しを行い、令和元年5月1日現在の数に変更(元)	
	医学系研究科 光医工学共同専攻	46,187 [ 6,415 ] <del>54,212 [ 9,690 ]</del> 91,403 [31,844]	748 [ 332 ] <del>1,981 [1,373]</del> 2,206 [1,040]	1,564 [ 161 ] <del>2,825 [1,544]</del> 7,040 [5,881]	815 <del>942</del> 1382	3,375	1		附属図書館の改修計画に伴い、蔵書の見直しを行い、平成30年5月1日現在の数に変更(30)
		(46,187 [ 6,415 ] ) <del>(54,212 [ 9,690 ] )</del> <del>(91,403 [31,844] )</del>	( 748 [ 332 ] ) <del>(1,981 [1,373] )</del> <del>(2,206 [1,040] )</del>	(1,564 [ 161 ] ) <del>(2,825 [1,544] )</del> <del>(7,040 [5,881] )</del>	( 815 ) <del>( 942 )</del> <del>(1,382)</del>	(3,375)	(1)		
	計	46,187 [ 6,415 ] <del>54,212 [ 9,690 ]</del> 91,403 [31,844]	748 [ 332 ] <del>1,981 [1,373]</del> 2,206 [1,040]	1,564 [ 161 ] <del>2,825 [1,544]</del> 7,040 [5,881]	815 <del>942</del> 1382	3375	1		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 附属図書館の改修計画に伴い、書架の撤去により令和元年5月1日現在の数に変更(元) 図書館ラウンジの配置変更に伴い平成30年5月1日現在の数に変更(30)		
	1,757 m <sup>2</sup>		273 233 234		61,611 90,556				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,442 m <sup>2</sup>								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	共同研究費等		千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。
  - ・ 構成大学ごとに記入してください。

#### 4. 既設大学等の状況

(静岡大学)

大学の名称	静岡大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開 設 年 度	所 在 地	
人文社会科学部	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
		450	3年次 5	1,810		1.03				平成24年度入学生より、人文学部から人文社会科学部へ学部名称変更
社会学科	4	70	—	280	学士 (社会学又は 学術)	1.07		昭和57	静岡県静岡市駿河区 大谷836番地	
言語文化学科	4	75	—	300	学士 (文学又は 学術)	1.03		平成 4	同上	
法学科	4	90	3年次 2	364	学士 (法学又は 学術)	1.02		昭和53	同上	
法学科(夜間主 コース)	4	30	3年次 3	126	学士 (法学)	1.04		平成 8	同上	
経済学科	4	155	—	620	学士 (経済学又は 学術)	1.05		昭和53	同上	
経済学科(夜間主 コース)	4	30	—	120	学士 (経済学)	0.97		平成 8	同上	
教育学部		300		1,200		1.01				
学校教育教員養成 課程	4	300	—	1,200	学士 (教育学)	1.01		平成10	静岡県静岡市駿河区 大谷836番地	
生涯教育課程	4	—	—	—	学士 (教育学)	—		平成10	同上	平成28年度より学生募集停止
総合科学教育課程	4	—	—	—	学士 (教育学)	—		平成10	同上	平成28年度より学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	学士 (教育学)	—		平成10	同上	平成28年度より学生募集停止
情報学部		245		980		1.03				
情報科学科	4	100	—	400	学士 (情報学)	1.04		平成 8	静岡県浜松市中区城 北三丁目5番1号	
行動情報学科	4	70	—	280	学士 (情報学)	1.04		平成28	同上	
情報社会学科	4	75	—	300	学士 (情報学又は 学術)	1.01		平成 8	静岡県浜松市中区城 北三丁目5番1号	



理学部		240		960		1.01			
数学科	4	38	—	152	学士 (理学)	0.96	昭和40	静岡県静岡市駿河区 大谷836番地	
物理学科	4	48	—	192	学士 (理学又は 学術)	0.96	昭和40	同上	
化学科	4	52	—	208	学士 (理学又は 学術)	0.88	昭和40	同上	
生物科学科	4	52	—	208	学士 (理学又は 学術)	0.89	平成18	同上	
地球科学科	4	50	—	200	学士 (理学又は 学術)	0.95	平成18	同上	
工学部		550		2,200		1.03			
機械工学科	4	168	—	672	学士 (工学又は 学術)	1.03	平成7	静岡県浜松市中区城 北三丁目5番1号	
電気電子工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.04	平成7	同上	
電子物質科学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.02	平成25	同上	
化学バイオ工学科	4	112	—	448	学士 (工学又は 学術)	1.03	平成25	同上	
数理システム工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.04	平成25	同上	
物質工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成7	同上	平成25年度より学 生募集停止
システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成7	同上	平成25年度より学 生募集停止
農学部		185	3年次 10	760		1.05			
生物資源科学科	4	115	3年次 7	474	学士 (農学又は 学術)	1.04	平成28	静岡県静岡市駿河区 大谷836番地	
応用生命科学科	4	70	3年次 3	286	学士 (農学)	1.07	平成28	同上	
共生バイオサイエ ンス学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成18	静岡県静岡市駿河区 大谷836番地	平成28年度より学 生募集停止
応用生物化学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成元	同上	平成28年度より学 生募集停止

環境森林科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	—	平成18	同上	平成28年度より学生募集停止
大学全体	4	1,970	15	7,910	—	1.02	—	—	—	
大学の名称	静岡大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
大学院人文社会科学 研究科		36		72		0.89				
臨床人間科学専攻	2	11	—	22	修士 (臨床人間 科学)	0.85		平成15	静岡県静岡市駿河区 大谷836番地	
比較地域文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	0.90		平成9	同上	
経済専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.93		平成17	同上	
大学院教育学研究科		76		156						
学校教育研究専攻	2	52	—	104	修士 (教育学)	0.73		平成21	静岡県静岡市駿河区 大谷836番地	
共同教科開発学専 攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	1.33		平成24	同上	
教育実践高度化専 攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.15		平成21	同上	
大学院総合科学技術研 究科		479		958		1.14				
情報学専攻	2	60	—	120	修士 (情報学)	1.12		平成27	静岡県浜松市中区城 北三丁目5番1号	
理学専攻	2	70	—	140	修士 (理学)	1.06		平成27	静岡県静岡市駿河区 大谷836番地	
工学専攻	2	262	—	524	修士 (工学)	1.25		平成27	静岡県浜松市中区城 北三丁目5番1号	
農学専攻	2	87	—	174	修士 (農学)	0.90		平成27	静岡県静岡市駿河区 大谷836番地	

大学院工学研究科												
事業開発マネジメント専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—		平成18	静岡県浜松市中区城北三丁目5番1号	平成27年度より学生募集停止		
大学院光医工学研究科		5		10		1.00						
光医工学共同専攻	3	5	—	10	博士 (光医工学)	1.00		平成30	静岡県浜松市中区城北三丁目5番1号			
大学院自然科学系教育部		45		140		1.03						
ナノビジョン工学専攻	3	10	—	33	博士 (学術又は工学)	0.62	平成30	平成18	静岡県浜松市中区城北三丁目5番1号	定員変更(△3)		
光・ナノ物質機能専攻	3	9	—	30	博士 (学術、理学又は工学)	0.72	平成30	平成18	同上	定員変更(△3)		
情報科学専攻	3	11	—	32	博士 (学術、情報学、理学又は工学)	1.29	平成30	平成18	同上	定員変更(1)		
環境・エネルギーシステム専攻	3	7	—	21	博士 (学術、理学又は工学)	1.23		平成18	静岡県静岡市駿河区大谷836番地			
バイオサイエンス専攻	3	8	—	24	博士 (学術、理学、工学又は農学)	1.53		平成18	同上			
大学院全体		641	—	1,336	—	1.20	—	—	—			

## (浜松医科大学)

大学の名称	浜松医科大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
医学部										
医学科	6	115	2年次 5	715	学士 (医学)	0.99		昭和49年度	静岡県浜松市東区半 田山一丁目20番1号	
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士 (看護学)	0.98		平成7年度	同上	
大学全体		175	15	975	—	0.98	—	—	—	
大学の名称	浜松医科大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
医学系研究科 (修士課程)										
看護学専攻	2	16	—	32	修士 (看護学)	1.00		平成11年度	静岡県浜松市東区半 田山一丁目20番1号	
(博士課程)										
医学専攻	4	30	—	120	博士 (医学)	1.25		平成24年度	同上	
(博士後期課程)										
光医工学共同専攻	3	3	—	9	博士 (光医工学)	1.00		平成30年度	同上	
大学院全体		49	—	161	—	1.14	—	—	—	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

- ・ 本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・ 「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
- ・ 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・ 構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表

<静岡大学>

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	三村 秀典 ( ) <平成30年4月> 工学博士	三村 秀典 ( ) <平成30年4月> 工学博士	三村 秀典 ( ) <平成30年4月> 工学博士	三村 秀典 ( ) <平成30年4月> 工学博士
		研究インターンシップ	研究インターンシップ	研究インターンシップ	研究インターンシップ
		医工学概論B※	医工学概論B※	医工学概論B※	医工学概論B※
		イメージングデバイス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	イメージングデバイス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	イメージングデバイス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	イメージングデバイス※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	猪川 洋 ( ) <平成30年4月> 工学博士	猪川 洋 ( ) <平成30年4月> 工学博士	猪川 洋 ( ) <平成30年4月> 工学博士	猪川 洋 ( ) <平成30年4月> 工学博士
		研究インターンシップ	研究インターンシップ	研究インターンシップ	研究インターンシップ
		医工学概論B※	医工学概論B※	医工学概論B※	医工学概論B※
		ナノエレクトロニクス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	ナノエレクトロニクス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	ナノエレクトロニクス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	ナノエレクトロニクス※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	川人 祥二 ( ) <平成30年4月> 工学博士	川人 祥二 ( ) <平成30年4月> 工学博士	川人 祥二 ( ) <平成30年4月> 工学博士	川人 祥二 ( ) <平成30年4月> 工学博士
		研究インターンシップ	研究インターンシップ	研究インターンシップ	研究インターンシップ
		医工学概論B※	医工学概論B※	医工学概論B※	医工学概論B※
		イメージングデバイス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	イメージングデバイス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	イメージングデバイス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	イメージングデバイス※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	川田 善正 ( ) <平成30年4月> 博士(工学)	川田 善正 ( ) <平成30年4月> 博士(工学)	川田 善正 ( ) <平成30年4月> 博士(工学)	川田 善正 ( ) <平成30年4月> 博士(工学)
		研究インターンシップ	研究インターンシップ	研究インターンシップ	研究インターンシップ
		医工学概論B※	医工学概論B※	医工学概論B※	医工学概論B※
		ナノフォトニクス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	ナノフォトニクス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	ナノフォトニクス※ 光医学特別演習 光医学特別研究	ナノフォトニクス※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	岩田 太 ( ) <平成30年4月> 博士(工学)	岩田 太 ( ) <平成30年4月> 博士(工学)	岩田 太 ( ) <平成30年4月> 博士(工学)	岩田 太 ( ) <平成30年4月> 博士(工学)
		研究インターンシップ	研究インターンシップ	研究インターンシップ	研究インターンシップ
		医工学概論B※	医工学概論B※	医工学概論B※	医工学概論B※
		イメージングシステム※ 光医学特別演習 光医学特別研究	イメージングシステム※ 光医学特別演習 光医学特別研究	イメージングシステム※ 光医学特別演習 光医学特別研究	イメージングシステム※ 光医学特別演習 光医学特別研究

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青木 徹 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ
		医工学概論B※ イメージングシステム※ 光工学特別演習 光工学特別研究
専	教授	佐々木 哲朗 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ
		医工学概論B※ イメージングデバイス※ 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	庭山 雅嗣 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ
		医工学概論B※ 生体計測・情報システム※ 光工学特別演習 光工学特別研究
兼任	教授	KANEV KAMEN DIMITROV ( ) <平成30年4月> Ph.D. in Computer Science ブルガリア 光子・電子のナノデバイスと応用※
		海老澤 嘉伸 ( ) <平成30年4月> 工学博士 光子・電子のナノデバイスと応用※
兼任	教授	橋口 原 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノデバイスと応用※
		井上 翼 ( ) <平成30年4月> 博士(学術) 光子・電子のナノデバイスと応用※
兼任	教授	原 和彦 ( ) <平成30年4月> 工学博士 医工学概論B※
		MIZEIKIS VYGANTAS ( ) <平成30年4月> Doctor Natural Science リトアニア ナノフォトニクス※
兼任	教授	石田 明広 ( ) <平成30年4月> 工学博士 ナノエレクトロニクス※

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青木 徹 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ
		医工学概論B※ イメージングシステム※ 光工学特別演習 光工学特別研究
専	教授	佐々木 哲朗 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ
		医工学概論B※ イメージングデバイス※ 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	庭山 雅嗣 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ
		医工学概論B※ 生体計測・情報システム※ 光工学特別演習 光工学特別研究
兼任	教授	KANEV KAMEN DIMITROV ( ) <平成30年4月> Ph.D. in Computer Science ブルガリア 光子・電子のナノデバイスと応用※
		海老澤 嘉伸 ( ) <平成30年4月> 工学博士 光子・電子のナノデバイスと応用※
兼任	教授	橋口 原 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノデバイスと応用※
		井上 翼 ( ) <平成30年4月> 博士(学術) 光子・電子のナノデバイスと応用※
兼任	教授	原 和彦 ( ) <平成30年4月> 工学博士 医工学概論B※
		MIZEIKIS VYGANTAS ( ) <平成30年4月> Doctor Natural Science リトアニア ナノフォトニクス※
兼任	教授	石田 明広 ( ) <平成30年4月> 工学博士 ナノエレクトロニクス※

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青木 徹 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ
		医工学概論B※ イメージングシステム※ 光工学特別演習 光工学特別研究
専	教授	佐々木 哲朗 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ
		医工学概論B※ イメージングデバイス※ 光工学特別演習 光工学特別研究
専	准教授	庭山 雅嗣 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ
		医工学概論B※ 生体計測・情報システム※ 光工学特別演習 光工学特別研究
兼任	教授	KANEV KAMEN DIMITROV ( ) <平成30年4月> Ph.D. in Computer Science ブルガリア 光子・電子のナノデバイスと応用※
		海老澤 嘉伸 ( ) <平成30年4月> 工学博士 光子・電子のナノデバイスと応用※
兼任	教授	橋口 原 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノデバイスと応用※
		井上 翼 ( ) <平成30年4月> 博士(学術) 光子・電子のナノデバイスと応用※
兼任	教授	原 和彦 ( ) <平成30年4月> 工学博士 医工学概論B※
		MIZEIKIS VYGANTAS ( ) <平成30年4月> Doctor Natural Science リトアニア ナノフォトニクス※
兼任	教授	石田 明広 ( ) <平成30年4月> 工学博士 ナノエレクトロニクス※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小野 行徳 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) ナノエレクトロニクス※
兼任	教授	近藤 淳 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) イメージングデバイス※
兼任	准教授	池田 浩也 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノサイエンスと応用※ ナノエレクトロニクス※
兼任	准教授	荻野 明久 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノサイエンスと応用※
兼任	准教授	小野 篤史 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) ナノフォトンクス※
兼任	准教授	居波 涉 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) ナノフォトンクス※
兼任	准教授	甲斐 充彦 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 生体計測・情報システム※
兼任	准教授	渡邊 実 ( ) <平成31年4月> 博士(情報工学) イメージングシステム※
兼任	准教授	香川 景一郎 ( ) <平成31年4月> 博士(工学) イメージングシステム※
兼任	講師	武田 正典 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノサイエンスと応用※
兼任	講師	沖田 善光 ( ) <平成30年4月> 博士(学術) 生体計測・情報システム※
兼任	助教	石川 翔吾 ( ) <平成30年4月> 博士(情報学) 生体計測・情報システム※
兼任	講師	Daniel Frank Mortali ( ) <平成30年4月> Master of Education in TESOL 米国 科学技術英語コミュニケーション I 科学技術英語コミュニケーション II

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小野 行徳 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) ナノエレクトロニクス※
兼任	教授	近藤 淳 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) イメージングデバイス※
兼任	教授	池田 浩也 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノサイエンスと応用※ ナノエレクトロニクス※
兼任	准教授	荻野 明久 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノサイエンスと応用※
兼任	准教授	小野 篤史 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) ナノフォトンクス※
兼任	准教授	居波 涉 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) ナノフォトンクス※
兼任	准教授	甲斐 充彦 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 生体計測・情報システム※
兼任	准教授	渡邊 実 ( ) <平成31年4月> 博士(情報工学) イメージングシステム※
兼任	准教授	香川 景一郎 ( ) <平成31年4月> 博士(工学) イメージングシステム※
兼任	准教授	武田 正典 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノサイエンスと応用※
兼任	講師	沖田 善光 ( ) <平成30年4月> 博士(学術) 生体計測・情報システム※
兼任	助教	石川 翔吾 ( ) <平成30年4月> 博士(情報学) 生体計測・情報システム※
兼任	講師	Daniel Frank Mortali ( ) <平成30年4月> Master of Education in TESOL 米国 科学技術英語コミュニケーション I 科学技術英語コミュニケーション II

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小野 行徳 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) ナノエレクトロニクス※
兼任	教授	近藤 淳 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) イメージングデバイス※
兼任	教授	池田 浩也 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノサイエンスと応用※ ナノエレクトロニクス※
兼任	准教授	荻野 明久 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノサイエンスと応用※
兼任	准教授	小野 篤史 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) ナノフォトンクス※
兼任	教授	居波 涉 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) ナノフォトンクス※
兼任	准教授	甲斐 充彦 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 生体計測・情報システム※
兼任	准教授	渡邊 実 ( ) <平成31年4月> 博士(情報工学) イメージングシステム※
兼任	准教授	香川 景一郎 ( ) <平成31年4月> 博士(工学) イメージングシステム※
兼任	准教授	武田 正典 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) 光子・電子のナノサイエンスと応用※
兼任	講師	沖田 善光 ( ) <平成30年4月> 博士(学術) 生体計測・情報システム※
兼任	助教	石川 翔吾 ( ) <平成30年4月> 博士(情報学) 生体計測・情報システム※
兼任	講師	Daniel Frank Mortali ( ) <平成30年4月> Master of Education in TESOL 米国 科学技術英語コミュニケーション I 科学技術英語コミュニケーション II



## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡邊 修治 ( ) <平成31年4月> 農学修士 科学技術文書表現法
		豊田 晴義 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) イメージングデバイス※
兼任	講師	井上 卓 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) イメージングデバイス※
		渡邊 光男 ( ) <平成31年4月> 工学修士 イメージングシステム※
兼任	講師	高本 尚宜 ( ) <平成31年4月> 工学士 イメージングシステム※
		木村 雅和 ( ) <平成31年4月> 工学博士 医工学知的財産・起業論※
兼任	講師	出崎 一石 ( ) <平成31年4月> 工学士 医工学知的財産・起業論※
		鈴木 俊充 ( ) <平成31年4月> 経営学士 医工学知的財産・起業論※
兼任	講師	原 勉 ( ) <平成31年4月> 工学博士 医工学知的財産・起業論※
		瀧口 義浩 ( ) <平成31年4月> Ph.D. (電子)工学 教授 医工学知的財産・起業論※

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡邊 修治 ( ) <平成31年4月> 農学修士 科学技術文書表現法
		豊田 晴義 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) イメージングデバイス※
兼任	講師	井上 卓 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) イメージングデバイス※
		渡邊 光男 ( ) <平成31年4月> 工学修士 イメージングシステム※
兼任	講師	高本 尚宜 ( ) <平成31年4月> 工学士 イメージングシステム※
		木村 雅和 ( ) <平成31年4月> 工学博士 医工学知的財産・起業論※
兼任	講師	出崎 一石 ( ) <平成31年4月> 工学士 医工学知的財産・起業論※
		鈴木 俊充 ( ) <平成31年4月> 経営学士 医工学知的財産・起業論※
兼任	講師	原 勉 ( ) <平成31年4月> 工学博士 医工学知的財産・起業論※
		瀧口 義浩 ( ) <平成31年4月> Ph.D. (電子)工学 教授 医工学知的財産・起業論※

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡邊 修治 ( ) <平成31年4月> 農学修士 科学技術文書表現法
		豊田 晴義 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) イメージングデバイス※
兼任	講師	井上 卓 ( ) <平成30年4月> 博士(工学) イメージングデバイス※
		渡邊 光男 ( ) <平成31年4月> 工学修士 イメージングシステム※
兼任	講師	高本 尚宜 ( ) <平成31年4月> 工学士 イメージングシステム※
		木村 雅和 ( ) <平成31年4月> 工学博士 医工学知的財産・起業論※
兼任	講師	出崎 一石 ( ) <平成31年4月> 工学士 医工学知的財産・起業論※
		鈴木 俊充 ( ) <平成31年4月> 経営学士 医工学知的財産・起業論※
兼任	講師	原 勉 ( ) <平成31年4月> 工学博士 医工学知的財産・起業論※
		瀧口 義浩 ( ) <平成31年4月> Ph.D. (電子)工学 教授 医工学知的財産・起業論※

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
担当授業科目名		
専	教授	谷 重喜 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(薬学)
		研究インターンシップ 医療・生物統計学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	浦野 哲盟 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析※ 研究インターンシップ 医工学概論A※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	岩下 寿秀 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 研究インターンシップ 医工学概論A※ 病態・疾病学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	椎谷 紀彦 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		研究インターンシップ 病態・疾病学※ メディカルデバイス デザイン※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	三宅 秀明 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		研究インターンシップ 病態・疾病学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	中村 和正 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		研究インターンシップ 医工学概論A※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	星 祥子 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 研究インターンシップ 医工学概論A※ メディカル生体情報 処理学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
兼任	教授	山本 清二 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※ メディカルデバイス デザイン※
兼任	講師	山本 清二 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※ メディカルデバイス デザイン※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
担当授業科目名		
専	教授	谷 重喜 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(薬学)
		研究インターンシップ 医療・生物統計学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	浦野 哲盟 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析※ 研究インターンシップ 医工学概論A※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	岩下 寿秀 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 研究インターンシップ 医工学概論A※ 病態・疾病学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	椎谷 紀彦 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		研究インターンシップ 病態・疾病学※ メディカルデバイス デザイン※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	三宅 秀明 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		研究インターンシップ 病態・疾病学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	中村 和正 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		研究インターンシップ 医工学概論A※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	星 祥子 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 研究インターンシップ 医工学概論A※ メディカル生体情報 処理学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
兼任	教授	山本 清二 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※ メディカルデバイス デザイン※
兼任	講師	山本 清二 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※ メディカルデバイス デザイン※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
担当授業科目名		
専	教授	谷 重喜 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(薬学)
		研究インターンシップ 医療・生物統計学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	浦野 哲盟 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析※ 研究インターンシップ 医工学概論A※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	岩下 寿秀 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 研究インターンシップ 医工学概論A※ 病態・疾病学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	椎谷 紀彦 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		研究インターンシップ 病態・疾病学※ メディカルデバイス デザイン※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	三宅 秀明 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		研究インターンシップ 病態・疾病学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	中村 和正 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		研究インターンシップ 医工学概論A※ 光医学特別演習 光医学特別研究
専	教授	星 祥子 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 研究インターンシップ 医工学概論A※ メディカル生体情報 処理学※ 光医学特別演習 光医学特別研究
兼任	教授	山本 清二 ( ) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※ メディカルデバイス デザイン※
兼任	講師	山本 清二 ( ) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※ メディカルデバイス デザイン※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大塚 義一郎 ( ) <平成30年4月> 法務博士(専門職)
		医療研究概論※
兼任	教授	古屋 淳 ( ) <平成31年4月> 博士(数理学)
		医療・生物統計学※
兼任	教授	佐藤 康二 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※
兼任	教授	瀬藤 光利 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※
兼任	教授	福田 敦夫 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析 ※ 医工学概論A※
兼任	教授	北川 雅敏 ( ) <平成30年4月> 博士(薬学)
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析 ※
兼任	教授	才津 浩智 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析 ※
兼任	教授	椋村 春彦 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※
兼任	教授	梅村 和夫 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※ メディカルデバイス デザイン※
兼任	教授	鈴木 哲朗 ( ) <平成30年4月> 博士(農学)
		先端基礎医学特論※ 医工学概論A※ 病態・疾病学※
兼任	教授	尾島 俊之 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大塚 義一郎 ( ) <平成30年4月> 法務博士(専門職)
		医療研究概論※
兼任	教授	古屋 淳 ( ) <平成31年4月> 博士(数理学)
		医療・生物統計学※
兼任	教授	佐藤 康二 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※
兼任	教授	瀬藤 光利 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※
兼任	教授	福田 敦夫 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析 ※ 医工学概論A※
兼任	教授	北川 雅敏 ( ) <平成30年4月> 博士(薬学)
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析 ※
兼任	教授	才津 浩智 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析 ※
兼任	教授	椋村 春彦 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※
兼任	教授	梅村 和夫 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※ メディカルデバイス デザイン※
兼任	教授	鈴木 哲朗 ( ) <平成30年4月> 博士(農学)
		先端基礎医学特論※ 医工学概論A※ 病態・疾病学※
兼任	教授	尾島 俊之 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大塚 義一郎 ( ) <平成30年4月> 法務博士(専門職)
		医療研究概論※
兼任	教授	古屋 淳 ( ) <平成31年4月> 博士(数理学)
		医療・生物統計学※
兼任	教授	佐藤 康二 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※
兼任	教授	瀬藤 光利 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※
兼任	教授	福田 敦夫 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析 ※ 医工学概論A※
兼任	教授	北川 雅敏 ( ) <平成30年4月> 博士(薬学)
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析 ※
兼任	教授	才津 浩智 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※ 生体構造・機能解析 ※
兼任	教授	椋村 春彦 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		先端基礎医学特論※
兼任	教授	梅村 和夫 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※ メディカルデバイス デザイン※
兼任	教授	鈴木 哲朗 ( ) <平成30年4月> 博士(農学)
		先端基礎医学特論※ 医工学概論A※ 病態・疾病学※
兼任	教授	尾島 俊之 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮嶋 裕明 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		医療研究概論※ 病態・疾病学※
兼任	教授	須田 隆文 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	山末 英典 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※
兼任	教授	竹内 裕也 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	松山 幸弘 ( ) <平成31年4月> 医学博士
		病態・疾病学※
兼任	教授	堀田 喜裕 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	中島 芳樹 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	教授	緒方 勤 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	前川 真人 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医工学概論 A ※
兼任	教授	渡邊 裕司 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※ メディカルデバイス デザイン※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮嶋 裕明 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		医療研究概論※ 病態・疾病学※
兼任	教授	須田 隆文 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	山末 英典 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※
兼任	教授	竹内 裕也 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	松山 幸弘 ( ) <平成31年4月> 医学博士
		病態・疾病学※
兼任	教授	堀田 喜裕 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	中島 芳樹 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	教授	緒方 勤 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	前川 真人 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医工学概論 A ※
兼任	教授	渡邊 裕司 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※ メディカルデバイス デザイン※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮嶋 裕明 ( ) <平成30年4月> 医学博士
		医療研究概論※ 病態・疾病学※
兼任	教授	須田 隆文 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	山末 英典 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※
兼任	教授	竹内 裕也 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	松山 幸弘 ( ) <平成31年4月> 医学博士
		病態・疾病学※
兼任	教授	堀田 喜裕 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	中島 芳樹 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	教授	緒方 勤 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	前川 真人 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医工学概論 A ※
兼任	教授	渡邊 裕司 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医薬品・医療機器開 発概論※ 医療研究概論※
兼任	准教授	坂口 孝直 ( ) <平成31年4月> 博士(理学)
		病態・疾病学※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 康秀 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※
兼任	教授	永田 年 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	間賀田 泰寛 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開発概論※
兼任	教授	尾内 康臣 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医工学概論A※ メディカル生体情報 処理学※
兼任	准教授	伊東 宏晃 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※ 病態・疾病学※
兼任	准教授	秋田 天平 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		生体構造・機能解析 ※ 医工学概論A※
兼任	准教授	鈴木 優子 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		生体構造・機能解析 ※ 医工学概論A※
兼任	准教授	丹伊田 浩行 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		生体構造・機能解析 ※
兼任	准教授	星野 裕信 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカルデバイス デザイン※
兼任	准教授	竹下 明裕 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 康秀 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※
兼任	教授	永田 年 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	間賀田 泰寛 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開発概論※
兼任	教授	尾内 康臣 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医工学概論A※ メディカル生体情報 処理学※
兼任	准教授	伊東 宏晃 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※ 病態・疾病学※
兼任	准教授	秋田 天平 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		生体構造・機能解析 ※ 医工学概論A※
兼任	准教授	鈴木 優子 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		生体構造・機能解析 ※ 医工学概論A※
兼任	准教授	丹伊田 浩行 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		生体構造・機能解析 ※
兼任	准教授	星野 裕信 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカルデバイス デザイン※
兼任	准教授	竹下 明裕 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	北條 泰輔 ( ) <平成31年4月> 博士(薬学)
		メディカルデバイス デザイン※
兼任	教授	山田 康秀 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※
兼任	教授	永田 年 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※
兼任	教授	間賀田 泰寛 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医薬品・医療機器開発概論※
兼任	教授	尾内 康臣 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学特論※ 医工学概論A※ メディカル生体情報 処理学※
兼任	准教授	伊東 宏晃 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※ 病態・疾病学※
兼任	准教授	秋田 天平 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		生体構造・機能解析 ※ 医工学概論A※
兼任	准教授	鈴木 優子 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		生体構造・機能解析 ※ 医工学概論A※
兼任	准教授	丹伊田 浩行 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		生体構造・機能解析 ※
兼任	准教授	星野 裕信 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカルデバイス デザイン※
兼任	准教授	竹下 明裕 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病学※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	古田 隆久 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療・生物統計学※ 医療研究概論※
兼任	特任准教授	小田切 圭一 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※
兼任	助教	藤原 雅雄 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカルデバイス デザイン※
兼任	特任助教	町田 学 ( ) <平成31年4月> 博士(工学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	西條 芳文 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	齊藤 健太 ( ) <平成31年4月> 博士(理学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	田中 謙二 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	和氣 弘明 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	荻生 久夫 ( ) <平成31年4月> 工学士
		医薬品・医療機器開 発概論※ メディカルデバイス デザイン※
兼任	講師	神谷 直慈 ( ) <平成31年4月> 修士(理学)
		医薬品・医療機器開 発概論※
兼任	講師	山越 淳 ( ) <平成31年4月> 学士(工学)
		医薬品・医療機器開 発概論※ メディカルデバイス デザイン※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	古田 隆久 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療・生物統計学※ 医療研究概論※
兼任	特任准教授	小田切 圭一 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※
兼任	助教	藤原 雅雄 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカルデバイス デザイン※
兼任	特任助教	町田 学 ( ) <平成31年4月> 博士(工学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	西條 芳文 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	齊藤 健太 ( ) <平成31年4月> 博士(理学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	田中 謙二 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	和氣 弘明 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	荻生 久夫 ( ) <平成31年4月> 工学士
		医薬品・医療機器開 発概論※ メディカルデバイス デザイン※
兼任	講師	神谷 直慈 ( ) <平成31年4月> 修士(理学)
		医薬品・医療機器開 発概論※
兼任	講師	山越 淳 ( ) <平成31年4月> 学士(工学)
		医薬品・医療機器開 発概論※ メディカルデバイス デザイン※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	古田 隆久 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療・生物統計学※ 医療研究概論※
兼任	特任准教授	小田切 圭一 ( ) <平成30年4月> 博士(医学)
		医療研究概論※
兼任	助教	藤原 雅雄 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカルデバイス デザイン※
兼任	特任助教	町田 学 ( ) <平成31年4月> 博士(工学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	西條 芳文 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	齊藤 健太 ( ) <平成31年4月> 博士(理学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	田中 謙二 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	和氣 弘明 ( ) <平成31年4月> 博士(医学)
		メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	荻生 久夫 ( ) <平成31年4月> 工学士
		医薬品・医療機器開 発概論※ メディカルデバイス デザイン※
兼任	講師	神谷 直慈 ( ) <平成31年4月> 修士(理学)
		医薬品・医療機器開 発概論※
兼任	講師	山越 淳 ( ) <平成31年4月> 学士(工学)
		医薬品・医療機器開 発概論※ メディカルデバイス デザイン※

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	岩井 俊昭 ( ) <平成31年4月> 工学博士	兼任	講師	岩井 俊昭 ( ) <平成31年4月> 工学博士	兼任	講師	岩井 俊昭 ( ) <平成31年4月> 工学博士
		メディカル生体情報 処理学※			メディカル生体情報 処理学※			メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	大出 寿 ( ) <平成31年4月> 修士(理学)	兼任	講師	大出 寿 ( ) <平成31年4月> 修士(理学)	兼任	講師	加藤 貴之 ( ) <平成31年4月> 修士(工学)
		メディカル生体情報 処理学※			メディカル生体情報 処理学※			メディカル生体情報 処理学※
兼任	講師	折本 正樹 ( ) <平成31年4月> 学士(工学)	兼任	講師	折本 正樹 ( ) <平成31年4月> 学士(工学)	兼任	講師	折本 正樹 ( ) <平成31年4月> 学士(工学)
		メディカルデバイス デザイン※			メディカルデバイス デザイン※			メディカルデバイス デザイン※

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

<静岡大学>

**【平成30年度】**

- ・ 兼担教員 池田 浩也 平成30年4月1日昇任（准教授→教授）
- ・ 兼担教員 武田 正典 平成29年10月1日昇任（講師→准教授）

**【令和元年度】**

- ・ 兼担教員 居波 涉 平成30年12月1日昇任（准教授→教授）

<浜松医科大学>

**【平成30年度】**

- ・ 特になし。

**【令和元年度】**

- ・ より専門に近い教員が講義を担当するため、メディカルデバイスデザインの担当を渡邊教授から北條講師に変更。
- ・ より専門に近い教員が講義を担当するため、坂口准教授を兼担教員に追加。
- ・ 大出講師就任辞退により、加藤講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。
  - ・ 構成大学毎に記入してください。



(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
	静岡大学	4 名	3 名
浜松医科 大学	4 名	3 名	1又は2 (両大学合計で3) 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数【大学院】

大学名	設置時の計画					現在(報告時)の状況				
	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
静岡大学	7	1	0	0	8	7	1	0	0	8
	(7)	(1)	(0)	(0)	(8)					
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	8	0	0			8	0	0		
	(8)	(0)	(0)			(8)	(0)	(0)		
浜松医科 大学	7	0	0	0	7	7	0	0	0	7
	(7)	(0)	(0)	(0)	(7)					
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	7	0	0			7	0	0		
	(7)	(0)	(0)			(7)	(0)	(0)		
大学名	現在(報告時)の完成年度時の状況					現在(報告時)の完成年度時の計画				
	教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(D)
静岡大学	7	1	0	0	8	7	1	0	0	8
	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	8	0	0			8	0	0		
	[0]	[0]	[0]	[0]		[0]	[0]	[0]	[0]	
浜松医科 大学	7	0	0	0	7	7	0	0	0	7
	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	7	0	0			7	0	0		
	[0]	[0]	[0]	[0]		[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2) - ③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
静岡大学	65 歳	0 名	0 名
浜松医科 大学	65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
静岡大学	1		該当なし								
	2										
浜松医科大学	1		該当なし								
	2										
合計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0 人				必修	0 科目	必修	科目	必修	科目		
				選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
				自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
				計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
静岡大学	1		該当なし								
	2										
浜松医科大学	1		該当なし								
	2										
合計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数				担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0 人				必修	0 科目	必修	科目	必修	科目		
				選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
				自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
				計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
静岡大学	1		該当なし						
	2								
浜松医科大学	1		該当なし						
	2								
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

静岡大学： 該当なし
浜松医科大学： 該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
設 置 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### (1) 設置計画変更事項等

#### <静岡大学>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

#### <浜松医科大学>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）  
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

## (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

### <静岡大学>

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

- 1 光医工学共同専攻協議会 【添付資料1：静岡大学と浜松医科大学の光医工学共同専攻協議会規程】
- 2 光医工学共同専攻運営委員会 【添付資料2：静岡大学と浜松医科大学の光医工学共同専攻運営委員会内規】
- 3 光医工学研究科教授会 (学内会議) 【添付資料3：静岡大学大学院光医工学研究科教授会規則】

##### b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

- 1 両大学の専任教員等により構成される光医工学共同専攻協議会を月1回程度開催し、教育・運営に関する各種事項 (FD・SD推進に関する事項を含む) の審議、進捗状況の確認等を行う。

[平成30年度]

- ・ 第1回光医工学共同専攻協議会 平成30年 4月12日 (木) 17:00-18:30 (出席者17名)
- ・ 第2回光医工学共同専攻協議会 平成30年 4月23日 (月) -25日 (水) ※メール審議
- ・ 第3回光医工学共同専攻協議会 平成30年 5月10日 (木) 17:00-18:00 (出席者14名)
- ・ 第4回光医工学共同専攻協議会 平成30年 6月14日 (木) 17:00-18:00 (出席者13名)
- ・ 第5回光医工学共同専攻協議会 平成30年 7月17日 (火) -19日 (木) ※メール審議
- ・ 第6回光医工学共同専攻協議会 平成30年 9月13日 (木) 17:10-17:20 (出席者11名)
- ・ 第7回光医工学共同専攻協議会 平成30年10月11日 (木) -18日 (木) ※メール審議
- ・ 第8回光医工学共同専攻協議会 平成31年 2月14日 (木) 17:00-17:40 (出席者14名)
- ・ 第9回光医工学共同専攻協議会 平成31年 3月14日 (木) 17:00-18:00 (出席者13名)

[平成31・令和元年度]

- ・ 第1回光医工学共同専攻協議会 平成31年4月11日 (木) 17:00-17:50 (出席者13名)
- ・ 第2回光医工学共同専攻協議会 令和元年5月 9日 (木) 開催予定

- 2 両大学の専任教員等により構成される光医工学共同専攻運営委員会を月1回程度開催し、教育 (入試を除く) ・運営に関する各種事項 (FD・SD推進に関する事項を含む) の審議、進捗状況の確認等を行う。

[平成30年度]

- ・ 第1回光医工学共同専攻運営委員会 平成30年 5月 2日 (水) 14:00-14:55 (出席者4名)
- ・ 第2回光医工学共同専攻運営委員会 平成30年 6月 6日 (水) - 8日 (金) ※メール審議
- ・ 第3回光医工学共同専攻運営委員会 平成30年 7月10日 (火) -12日 (木) ※メール審議
- ・ 第4回光医工学共同専攻運営委員会 平成30年11月 1日 (木) 16:00-17:00 (出席者5名)
- ・ 第5回光医工学共同専攻運営委員会 平成31年 1月24日 (木) -28日 (月) ※メール審議
- ・ 第6回光医工学共同専攻運営委員会 平成31年 2月 7日 (木) 16:00-16:25 (出席者5名)
- ・ 第7回光医工学共同専攻運営委員会 平成31年 3月12日 (火) -13日 (水) ※メール審議

[平成31・令和元年度]

- ・ 第1回光医工学共同専攻運営委員会 平成31年4月25日 (木) 13:30-14:10 (出席者4名)
- ・ 第2回光医工学共同専攻運営委員会 令和元年6月6日 (木) 開催予定

- 3 光医工学共同専攻協議会及び同運営委員会の審議事項等に関する学内研究科担当教員の意見集約を行うため、光医工学研究科教授会 (学内会議) を月1回程度開催する。

[平成30年度]

- ・ 第1回光医工学研究科教授会 平成30年 4月13日 (金) 16:30-17:30 (出席者11名)
- ・ 第2回光医工学研究科教授会 平成30年 5月11日 (金) 16:10-16:50 (出席者17名)
- ・ 第3回光医工学研究科教授会 平成30年 6月18日 (金) 16:15-16:45 (出席者17名)
- ・ 第4回光医工学研究科教授会 平成30年 7月 9日 (木) 16:45-17:00 (出席者19名)
- ・ 第5回光医工学研究科教授会 平成30年 9月 3日 (月) 17:05-17:20 (出席者21名)
- ・ 第6回光医工学研究科教授会 平成30年10月12日 (金) 16:25-16:40 (出席者20名)
- ・ 第7回光医工学研究科教授会 平成30年11月19日 (月) 17:00-17:25 (出席者21名)
- ・ 第8回光医工学研究科教授会 平成30年11月29日 (木) -12月 3日 (月) ※メール審議
- ・ 第9回光医工学研究科教授会 平成30年12月 7日 (金) 16:25-16:45 (出席者20名)
- ・ 第10回光医工学研究科教授会 平成31年 1月11日 (金) 16:20-16:50 (出席者20名)
- ・ 第11回光医工学研究科教授会 平成31年 2月 8日 (金) 16:40-16:50 (出席者17名)



- ・第12回光医工学研究科教授会 平成31年 3月 7日（木）17:15—17:25（出席者17名）  
[平成31・令和元年度]
- ・第1回光医工学研究科教授会 平成30年4月13日（金）16:20—16:35（出席者24名）
- ・第2回光医工学研究科教授会 令和元年5月20日（月）開催予定

c 委員会の審議事項等

1 光医工学共同専攻協議会

- (1) 構成大学において開設する授業科目及びこれに係る教員の配置などカリキュラムの編成及び実施に関する基本的事項
- (2) 研究指導教員の選定に関する事項
- (3) 入学者選抜の方針及び実施計画に関する事項
- (4) 学生の身分取扱及び厚生補導に関する事項
- (5) 成績評価の方針に関する事項
- (6) 学位審査委員会の設置に関する事項
- (7) 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
- (8) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (9) 予算に関する事項
- (10) 広報に関する事項
- (11) 自己点検・評価に関する事項
- (12) F D・S D推進に関する事項
- (13) 共同専攻の設置に関する協定書の改正及び廃止並びに運用に関する事項
- (14) その他構成大学が必要と認めた事項

2 光医工学共同専攻運営委員会

- (1) 構成大学において開設する授業科目及びこれに係る教員の配置などカリキュラムの編成及び実施に関する基本的事項
- (2) 研究指導教員の選定に関する事項
- (3) 学生の身分取扱及び厚生補導に関する事項
- (4) 成績評価の方針に関する事項
- (5) 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
- (6) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (7) 予算に関する事項
- (8) 広報に関する事項
- (9) 自己点検・評価に関する事項
- (10) F D・S D推進に関する事項
- (11) その他委員会が必要と認めた事項

3 光医工学研究科教授会

- (1) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項
- (2) 評価に関する事項
- (3) 教育に関する事項
- (4) 学生生活の支援及び学生の身分に関する事項
- (5) 教員の人事に関する事項
- (6) その他研究科の組織・運営に関する事項
- (7) その他研究科長が審議を求めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- 1 遠隔授業システムの操作及び効果的な運用方法に関する勉強会
- 2 全学新任教員研修会
- 3 光医工学共同専攻協議会の協議事項（12）にある「F D・S D推進に関する事項」に基づき、同専攻運営委員会でF D・S D活動を含む、教員の資質の維持向上の方策等について原案を検討し、協議会で合意を得るとともに、授業アンケート等授業改善等に資する必要な活動を適宜実施する。

b 実施方法

- 1 遠隔授業システムの操作マニュアルを作成し、実際に模擬運用しながら実践的に経験を積む研修会を実施。
- 2 全学新任教員研修会  
本学の教育改革、F Dと授業改善、研究者倫理等についての講義及びグループワーク「今まで受けた授業から授業改善を考える」を含む研修を実施。
- 3 本共同専攻と教育・研究分野において関連の深い創造科学技術大学院、電子工学研究所等が主催する以下の国際シンポジウム等に参加して、最新の研究成果に関する情報収集を行い、研究・教育の質の維持向上につなげる。

- 4 オムニバス形式の授業科目について、難易度と成績評価の一律化に向けた基準・方法の確立に向け、検討を行う。
- 5 本共同専攻及び専任教員各自の教育研究活動の状況ととりまとめて年次報告書を作成し、前期終了までに公表する。
- 6 さらに全学的な取り組みとして、「情報システム統一研修(教職員対象)」、「研究費の運営・管理に関するコンプライアンス教育研修(教員対象)」、「CS(Customer Satisfaction、顧客満足)研修(事務職員対象)」、「グローバル化研修(事務職員対象)」などが実施される。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- 1 遠隔授業システムの操作及び効果的な運用方法に関する勉強会(平成30年4月13日実施/担当教員8名、事務職員4名参加)
- 2 全学新任教員研修会(平成30年4月5日実施/新規採用の専任教員1名参加)
- 3 国内外において以下の国際シンポジウム等が開催され、関係教員が参加した。

[平成30年度]

- ① 光医工学共同専攻開設記念講演会(平成30年7月23日開催(浜松市内)/教職員・学生・企業関係者等約150名参加)
- ② 第17回インターアカデミア(平成30年9月24日-27日開催/本学教職員・学生29名参加)  
※リトアニア国カウナス工科大学にて開催
- ③ The 4th International Conference on Nano Electronics Research and Education (ICNERE2018) joined with the 20th Takayanagi Kenjiro Memorial Symposium  
(平成30年11月27日-29日開催(浜松市内)/学生・教職員298名参加)
- ④ The 5th International Symposium toward the Future of Advanced Researches in Shizuoka University 2019(平成31年3月6日開催(学内)/学生・教職員166名参加)

[令和元年度]

- ① 第18回インターアカデミア(令和元年9月4日-7日開催予定)※ハンガリー国オブタ大学にて開催
  - ② 第4回生体医歯工学共同研究拠点国際シンポジウム(令和元年11月14日-15日開催予定)
  - ③ The 6th International Symposium toward the Future of Advanced Researches in Shizuoka University 2020(令和2年3月開催予定)
- 4 平成30年度に開講したオムニバス形式の基礎科目及び専門科目の授業科目について、難易度と成績評価の一律化に向けた基準・方法の確立に向け、シラバスの目標を達成するために求められる各回の修得すべき要素をリストにまとめ、授業レベルと成績評価の基準とする「修得のマイルストーン」を試行した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

光医工学共同専攻運営委員会においてFD・SD推進に向けた方策を検討するとともに、授業アンケートによる評価を行い、授業改善に向け適切なフィードバックを行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

[平成30年度]

履修者数が少ない授業科目について実施及びフィードバックの方法を検討した。

[令和元年度]

前年度の検討結果を踏まえ、授業アンケート実施方法案を策定した。  
協議会で承認され次第、前年度開講授業を含めてアンケートを実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教授会等で報告するとともに、紙媒体等により公表し、教員・学生間で共有する。

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- 1 光医工学共同専攻協議会 【添付資料1：静岡大学と浜松医科大学の光医工学共同専攻協議会規程】
- 2 光医工学共同専攻運営委員会 【添付資料2：静岡大学と浜松医科大学の光医工学共同専攻運営委員会内規】
- 3 教育企画室会議（学内会議）【添付資料4：国立大学法人浜松医科大学教育企画室規則】

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- 1 両大学の専任教員等により構成される光医工学共同専攻協議会を月1回程度開催し、教育・運営に関する各種事項（FD・SD推進に関する事項を含む）の審議、進捗状況の確認等を行う。

[平成30年度]

- ・第1回光医工学共同専攻協議会 平成30年4月12日（木）17:00-18:30（出席者17名）  
他9回開催（年間10回開催）

- 2 両大学の専任教員等により構成される光医工学共同専攻運営委員会を月1回程度開催し、教育（入試を除く）・運営に関する各種事項（FD・SD推進に関する事項を含む）の審議、進捗状況の確認等を行う。

[平成30年度]

- ・第1回光医工学共同専攻運営委員会 平成30年5月2日（水）14:00-15:00（出席者6名）  
他6回開催（年間7回開催）

- 3 教育に関する専門的事項等を協議するため、教育企画室会議（学内会議）を月1回程度開催する。

[平成30年度]

- ・第1回教育企画室会議 平成30年4月18日（水）16:30-17:30  
（出席者 教育・産学連携担当理事、専任教員1名ほか） 他10回開催（年間11回開催）

c 委員会の審議事項等

1 光医工学共同専攻協議会

- (1) 構成大学において開設する授業科目及びこれに係る教員の配置などカリキュラムの編成及び実施に関する基本的事項
- (2) 研究指導教員の選定に関する事項
- (3) 入学者選抜の方針及び実施計画に関する事項
- (4) 学生の身分取扱及び厚生補導に関する事項
- (5) 成績評価の方針に関する事項
- (6) 学位審査委員会の設置に関する事項
- (7) 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
- (8) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (9) 予算に関する事項
- (10) 広報に関する事項
- (11) 自己点検・評価に関する事項
- (12) FD・SD推進に関する事項
- (13) 共同専攻の設置に関する協定書の改正及び廃止並びに運用に関する事項
- (14) その他構成大学が必要と認めた事項

2 光医工学共同専攻運営委員会

- (1) 構成大学において開設する授業科目及びこれに係る教員の配置などカリキュラムの編成及び実施に関する基本的事項
- (2) 研究指導教員の選定に関する事項
- (3) 学生の身分取扱及び厚生補導に関する事項
- (4) 成績評価の方針に関する事項
- (5) 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
- (6) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (7) 予算に関する事項
- (8) 広報に関する事項
- (9) 自己点検・評価に関する事項
- (10) FD・SD推進に関する事項
- (11) その他委員会が必要と認めた事項

### 3 教育企画室会議

- (1) 企画室に係る中期目標・中期計画及び年度計画(進捗状況のモニタリングを含む。)に関する事項
- (2) 企画室に係る予算に関する事項
- (3) 企画室に係る業務実績報告に関する事項
- (4) 教育方針の策定に関する事項
- (5) 教育の評価・改善に関する事項
- (6) その他教育及び国際交流に関する事項

## ② 実施状況

### a 実施内容

1 光医工学共同専攻協議会の協議事項(12)にある「FD・SD推進に関する事項」に基づき、同専攻運営委員会でFD・SD活動を含む、教員の資質の維持向上の方策等について原案を検討し、協議会で合意を得るとともに、授業アンケート等授業改善等に資する必要な活動を適宜実施する。

2 反転授業に関する講演会

### b 実施方法

1 光医工学共同専攻協議会の協議事項(12)にある「FD・SD推進に関する事項」に基づき、同専攻運営委員会でFD・SD活動を含む、教員の資質の維持向上の方策等について原案を検討し、協議会で合意を得るとともに、授業アンケート等授業改善等に資する必要な活動を適宜実施する。

2 反転授業に関する講演会を開催し、光医工学共同専攻の講義への導入について検討する。

### c 開催状況(教員の参加状況含む)

反転授業に関する講演会を3回開催した(教員のべ172名参加)。また、ストリーミング配信を行い、更なる教員の受講を促した。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今後、光医工学共同専攻の講義への導入について検討する。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

協議会等にて実施方法を検討の上、授業アンケートを実施する予定である。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は協議会等で報告するとともに、紙媒体等により公表し、教員・学生間で共有する。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### <静岡大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

授業科目の開講、教員の配置などについて設置計画どおり実施しているほか、入学者数についても引き続き入学定員どおり確保されており、継続して順調に達成している。

今後も、両大学が協力して設置計画を着実に実施し、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定（令和3年度に自己点検・評価を実施予定）

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を大学ホームページ上に公開予定。

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に大学機関別認証評価（評価機関は未定）を受審予定

#### <浜松医科大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

授業科目の開講、教員の配置などについて設置計画どおり実施しているほか、入学者数についても昨年度、今年度も入学定員どおり確保されており、概ね順調な達成状況である。

また、光医工学共同専攻協議会及び同専攻運営委員会における両大学の活発な議論に基づき、今後も着実に計画を実施し発展することを目指す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定（令和3年度に自己点検・評価を実施予定）

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を大学ホームページ上に公開予定。

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に大学機関別認証評価（評価機関は未定）を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<静岡大学>

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和 元 年 6 月 30 日 ）

c 公表無の場合の特段の理由 （ ）

<浜松医科大学>

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和 元 年 6 月 30 日 ）

c 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注） ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

## 静岡大学と浜松医科大学の光医工学共同専攻協議会規程

## (目的)

第1条 この規程は、静岡大学大学院規則（昭和39年4月27日）第5条及び浜松医科大学学則（平成16年4月1日）第5条第3項に定める光医工学共同専攻（以下「共同専攻」という。）に係る教育、研究等に関する事項を協議し、円滑な管理運営を行うため設置する光医工学共同専攻協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

## (協議会)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) 静岡大学及び浜松医科大学（以下「構成大学」という。）の共同専攻を担当する専任教員
- (2) 構成大学の共同専攻を置く研究科の研究科長が特に必要と認めた者 若干名
- 2 協議会に議長を置き、協議会の業務を掌理する。
- 3 議長は、協議会を招集し、その議長となる。
- 4 議長の任期は、1年とし、委員の互選により選出し、構成大学間で隔年交代とする。
- 5 協議会に副議長を置き、副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 6 副議長の任期は、1年とし、議長が所属する大学と異なる大学の委員のうちから委員の互選により選出する。

## (協議事項)

第3条 協議会は、共同専攻に係る次の各号に掲げる事項を協議する。

- (1) 構成大学において開設する授業科目及びこれに係る教員の配置などカリキュラムの編成及び実施に関する基本的事項
- (2) 研究指導教員の選定に関する事項
- (3) 入学者選抜の方針及び実施計画に関する事項
- (4) 学生の身分取扱及び厚生補導に関する事項
- (5) 成績評価の方針に関する事項
- (6) 学位審査委員会の設置に関する事項
- (7) 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
- (8) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (9) 予算に関する事項
- (10) 広報に関する事項
- (11) 自己点検・評価に関する事項
- (12) FD・SD推進に関する事項
- (13) 共同専攻の設置に関する協定書の改正及び廃止並びに運用に関する事項
- (14) その他構成大学が必要と認めた事項

2 協議内容は、構成大学の教授会に報告し、必要に応じて承認を得るものとする。

(専門委員会)

第4条 協議会の円滑な運営を図るため、協議会の下に次の各号に掲げる専門委員会を置く。

- (1) 運営委員会
- (2) 入試委員会
- (3) 学位審査委員会
- (4) その他協議会が必要と認めた委員会

2 専門委員会に関する事項は、別に定める。

(議事及び運営)

第5条 協議会は、構成委員の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、次の各号に掲げる者は、構成委員総数に算入しない。

- (1) 休職又は停職中の者
- (2) 育児休業中の者
- (3) 30日以上にわたる連続した休暇を取得中の者

2 協議会の議事は、出席委員の過半数の賛成をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。ただし、協議会が特に重要と認めた事項については、出席委員の3分の2以上の賛成により決する。

3 協議会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

4 この規程に定めるもののほか、協議会の議事及び運営について必要な事項は、協議会が定める。

(事務局)

第6条 この規程に定める事務を取り扱うために事務局を置く。

2 事務局は、静岡大学浜松キャンパス事務部及び浜松医科大学事務局が担当する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。



## 静岡大学と浜松医科大学の光医工学共同専攻運営委員会内規

## (趣旨)

第1条 この内規は、静岡大学と浜松医科大学の光医工学共同専攻協議会規程第4条の規定に基づき、静岡大学と浜松医科大学の光医工学共同専攻運営委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

## (組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 光医工学共同専攻協議会議長
- (2) 光医工学共同専攻協議会副議長
- (3) 静岡大学及び浜松医科大学（以下「構成大学」という。）の共同専攻から選出された専任教員 各2人
- (4) その他委員会が必要と認めた者

## (任期)

第3条 前条第3号の委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前条第4号の委員の任期は、委員会が定める。

## (委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、光医工学共同専攻協議会議長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故があるときは、光医工学共同専攻協議会副議長がその職務を代行する。

## (協議事項)

第5条 委員会は、共同専攻に係る次の各号に掲げる事項を協議する。

- (1) 構成大学において開設する授業科目及びこれに係る教員の配置などカリキュラムの編成及び実施に関する事項
- (2) 研究指導教員の選定に関する事項
- (3) 学生の身分取扱及び厚生補導に関する事項
- (4) 成績評価の方針に関する事項
- (5) 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
- (6) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (7) 予算に関する事項
- (8) 広報に関する事項
- (9) 自己点検・評価に関する事項
- (10) FD・SD推進に関する事項
- (11) その他委員会が必要と認める事項

(議事及び運営)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、会議を開催することができない。

(代理者の出席)

第7条 第2条第3号の委員が、やむを得ない事由により会議に出席できない場合は、その代理者を定め、議長の承認を得て会議に出席させることができる。

(委員以外の出席)

第8条 委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を述べさせることができる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、静岡大学浜松キャンパス事務部及び浜松医科大学学務課において処理する。

附 則

- 1 この内規は、平成30年4月12日から施行する。
- 2 この内規の施行後、最初の第2条第3号の委員の任期は、第3条第1項本文の規定(再任に係る規定を除く。)に関わらず、平成31年3月31日までとする。

## 静岡大学大学院光医工学研究科教授会規則

## (趣旨)

第1条 この規則は、静岡大学教授会通則（平成16年4月1日制定。以下「教授会通則」という。）第9条の規定に基づき、静岡大学大学院光医工学研究科教授会（以下「教授会」という。）の議事及び運営等に関し、必要な事項を定める。

## (組織)

第2条 教授会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 静岡大学大学院光医工学研究科長（以下「研究科長」という。）及び静岡大学大学院光医工学研究科副研究科長（以下「副研究科長」という。）
  - (2) 静岡大学大学院光医工学研究科（以下「研究科」という。）を主担当とする教授、准教授、講師及び助教
- 2 教授会は、静岡大学の学術院に所属する教授、准教授、講師及び助教のうち、研究科を副担当とする者を構成員に加えることができる。
- 3 教授会が必要と認める場合は、構成員以外の者を会議に出席させることができる。ただし、構成員以外の者については、議決権を有しない。

## (役割)

第3条 教授会は、学長が次の各号に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学及び課程の修了
  - (2) 学位の授与
  - (3) 教授会通則第3条第1項第3号の規定に基づき、学長が別に定めるもの
- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べるることができる。
- 3 教授会は、前2項に規定するもののほか、研究科長がつかさどる教育研究に関する事項のうち、次の各号に掲げる事項について審議し、及び研究科長の求めに応じ、意見を述べるることができる。
- (1) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項
  - (2) 評価に関する事項
  - (3) 教育に関する事項
  - (4) 学生生活の支援及び学生の身分に関する事項
  - (5) 教員の人事に関する事項
  - (6) その他研究科の組織・運営に関する事項
  - (7) その他研究科長が審議を求めた事項
- 4 教授会は、学長が教授会通則第3条第1項第3号に掲げる事項を定める際に、意見を述べるることができる。

(会議招集及び議長)

第4条 研究科長は、教授会を招集し、その議長となる。

2 研究科長に事故あるときは、副研究科長がその職務を代行する。

(会議)

第5条 教授会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。ただし、次の各号に掲げる者は、構成員に含まないものとする。

- (1) 職務により海外渡航中の者及び内地研究員として出張中の者
- (2) 休職又は停職中の者
- (3) 育児休業中の者
- (4) 30日以上にわたる連続した休暇を取得中の者
- (5) その他教授会が構成員から除くことが適当であると認める者

2 会議の議事は、出席者の過半数の同意により決し、可否同数のときは議長がこれを決する。ただし、教授会が特に重要と認めた事項については、構成員の3分の2以上の同意により決する。

3 前2項の規定にかかわらず、学位の授与に関する議決を行う場合は、静岡大学学位規程第16条に定めるところによる。

(専門委員会等)

第6条 教授会に、専門委員会等を置くことができる。

2 専門委員会等に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第7条 教授会の庶務は、浜松キャンパス事務部において処理する。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、教授会の運営等に必要な事項は、教授会が別に定める。

(規則の改正)

第9条 この規則の改正は、教授会の議を経るものとする。

附 則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

## ○国立大学法人浜松医科大学教育企画室規則

(平成 26 年 3 月 25 日規則第 5 号)

改正 平成 27 年 3 月 25 日規則第 14 号 平成 28 年 4 月 25 日規則第 16 号  
平成 31 年 3 月 27 日規則第 3 号

(趣旨)

第 1 条 国立大学法人浜松医科大学組織規則(平成 16 年規則第 1 号)第 17 条第 3 項の規定に基づき、国立大学法人浜松医科大学の教育企画室(以下「企画室」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第 2 条 企画室は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 理事(教育・産学連携担当)
- (2) 副学長(教育改革担当)
- (3) 学長特別補佐(カリキュラム担当)
- (4) 学長特別補佐(国際化促進担当)
- (5) 医学科基礎講座のうち、総合人間科学講座の教授又は准教授 若干人
- (6) 医学科基礎講座(総合人間科学講座を除く。)の教授又は准教授 若干人
- (7) 医学科臨床講座の教授又は准教授 若干人
- (8) 看護学科講座の教授又は准教授 若干人
- (9) 医学教育推進センター長
- (10) 国際化推進センター長
- (11) 事務局次長(総務・教育担当)
- (12) その他理事(教育・産学連携担当)が必要と認めた者

2 前項第 5 号から第 8 号及び第 12 号に規定する者のうち、少なくとも 1 人は、国立大学法人浜松医科大学教育研究評議会規則(平成 16 年規則第 5 号)第 2 条に定める評議員でなければならない。

(協議事項)

第 3 条 企画室は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 企画室に係る中期目標・中期計画及び年度計画(進捗状況のモニタリングを含む。)に関する事項
- (2) 企画室に係る予算に関する事項
- (3) 企画室に係る業務実績報告に関する事項
- (4) 教育方針の策定に関する事項
- (5) 教育の評価・改善に関する事項
- (6) その他教育及び国際交流に関する事項

(任期)

第4条 第2条第1項第5号から第8号及び第12号に規定する者の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その任期の末日は、学長の任期の末日とする。

(企画室の招集等)

第5条 企画室は、理事(教育・産学連携担当)が招集し、その議長となる。

2 企画室は、原則として月1回開催する。ただし、必要があるときは、臨時に開催することができる。

3 議長に事故があるときは、あらかじめ議長が指名した者が、その職務を代行する。

(構成員以外の出席)

第6条 企画室は、必要に応じ、職員等を出席させ、説明又は報告を求めることができる。

(委員会)

第7条 企画室は、必要に応じ、委員会を置くことができる。

2 委員会について必要な事項は、企画室が別に定める。

(庶務)

第8条 企画室の庶務は、学務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、企画室の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月25日規則第14号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年4月25日規則第16号)

この規則は、平成28年4月25日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則(平成31年3月27日規則第3号)

この規則は、平成31年4月1日から施行する。